

学校運営協議会 議事録

校名	府立 港 高等学校
校長名	浦山 聖

開催日時	令和5年5月19日（金） 16:00 ~ 17:15
開催場所	大阪府立 港 高等学校 1階会議室
委員	千葉 真也 委員 吉田 景一 委員 中田 昌彦 委員 石井 力 委員 高良 章彦 委員
学校	校長 浦山 聖 教頭 宮城 良明 事務長 大河内 るり子 首席 内藤 亮一 首席 芦田 健 教務主任 加藤 学 生徒指導主事 早川 宏行 自治会顧問 宮地 耕介 保健主事 國見 滯 進路指導主事 廣江 邦昭 3学年主任 吉田 正勝 2学年主任 青野 和弘 1学年主任 稲田 和明 教育相談委員長 鳥居 友貴
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールミッション について ・ 令和4年度学校評価 について ・ 令和5年度学校経営計画 について ・ 学年、分掌マネジメント表 について
備考	

議題等（次第順）

大阪府立港高等学校 令和5年度 第1回学校運営協議会

次 第

1 開会 (司会 教頭 宮城 良明)

2 校長挨拶 (校長 浦山 聖)

3 会長・副会長の確認

会長は 千葉 真也 様、副会長は 石井 力 様（推薦により選出）

4 報告

(1) 各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

- ① 教務部
- ② 生徒部 生徒指導
- ③ 生徒部 自治会
- ④ 生徒部 保健
- ⑤ 進路指導部
- ⑥ 総務部
- ⑦ 3学年
- ⑧ 2学年
- ⑨ 1学年
- ⑩ 教育相談委員会

(2) スクールミッションについて

5 協議

- ・ 報告事項について（どんな観点からでも）

6 諸連絡

今後の協議会予定

令和5年度第2回 令和5年 10月 13日（金）16:00～

令和5年度第3回 令和5年 2月 9日（金）16:00～

7 校長「閉会」の挨拶 (校長 浦山 聖)

報告・協議内容等（意見の概要）

報告

（１）各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

① 教務部

- ・学級閉鎖時のオンライン授業は、google classroom や meet の活用
- ・２年目の観点別評価について、情報共有を行い改善を図りたい。
- ・科目選択が生徒に対してマイナスにならないよう選択科目を設定する。。
- ・組織力の強化対策としてマニュアルの作成・改良して効率を上げていきたい。

② 生徒部 生徒指導

- ・重点課題は大きくは変わらない。
- ・身だしなみ指導・・・粘り強く最後まで指導を続ける。
- ・特定の教員の負担を減らし、全員で生徒を指導していきたい

③ 生徒部 自治会

- ・コロナ以前の行事体制に戻しつつ、現状のコロナ対策もしっかり行う。
- ・１年生の部活動加入率は５７％であるため、目標の６０％につなげていきたい。
- ・生徒が自主的に活動する自治会をめざしています。

④ 生徒部 保健

- ・各種講習会を利用して、生徒の健康維持・増進に努めていきたい。
- ・校内美化推進のため、保健委員を指導し全体の意識向上を図る。
- ・一斉避難訓練を２回実施する予定。

⑤ 進路指導部

- ・大学進学指導について、希望する５５％が達成できるようサポートしていく。
- ・専門学校や短大について進学後に再受験とならないようサポートしていく。
- ・人が入れ替わっても、指導体制が変わらないようにしていく。

⑥ 総務部

- ・図書館機能の充実を図り、授業での活用がやりやすいようにする。
- ・奨学金については将来の経済的負担軽減のため、給付型に申し込むよう指導する。
- ・コロナ後を見通して、PTA 活動のさらなる活性化を図る。

⑦ ３学年

- ・マナー、モラル、ルールを守れる生徒を育て、次のステップに行けるようサポート。
- ・誰かの代わりが誰にでもできるよう、良い雰囲気の子や学年を作っていきたい。

⑧ ２学年

- ・オープンキャンパスへの参加を呼びかけ、様々な学校の説明を聞かせイメージを持たせる。その結果生徒の興味の幅が広がっている。
- ・担任の個人面談は終わりつつあり、来月の三者懇談につなげていく。

⑨ 1 学年

- ・漢字検定や英語検定の合格者の増加を図る。
- ・先生方の労働時間が適正になるようサポートしていきたい。

⑩ 教育相談委員会

- ・今年度、SC16回、SSW12回の派遣。
- ・生徒情報を教員間で情報共有し、来室相談のハードルを下げていく。
- ・逆に、相談に来ていた生徒が、相談室に来なくなることを目標にしている。

(2) 令和5年度の学校経営計画について

- ・各種アンケートのデジタル化を図ることで、集計などの教員負担を軽減する。
→問題点として、保護者の回答率が低下する可能性がある。
- ・将来的には「授業が分かりやすい」という生徒割合を80%以上にしたい。
- ・それに伴い、生徒の自己肯定感をあげる取り組みを大切にしていく。
- ・検定の合格率（特に英検）を上げていく。
- ・働き方改革については、効率の良い仕事の仕方を考えて実践してもらいたい。
- ・一人一台端末の効果的な活用を進め、デジタル採点も積極的に活用してもらいたい。

【質疑応答】

○印：学校運営協議委員会のご発言、ご意見 ●印：学校教員の発言、意見

○アンケートについては、どのようなソフトを利用するのか。またベテランの教員も多い中、実施については問題なくできるのか。

●グーグルフォームが基本。全員ではないが、使える教員は増加している。利用にあたっての問題点は、情報関係の先生方に講習や説明会を開いていただき、対応している。

○働き方改革も大切ではあるが、人を確保しないと教育がおろそかになる。また一人一台端末についても、故障など対応はうまくできるのか。これも人の確保が必要である。

●人数が厳しい中で、現場の先生方は本当に頑張ってくれている。教員数は昔の算定数と基本変わらない。新しいシステムは導入されてくるが、専門の人がいなかったり、いても少なかったりして、一部の教員の負担となっているのが現状である。

○デジタル化のマイナス面にも注意する必要がある。例えば資料の文章の量、これはあまり増やさないと良い。

○漢字検定については、現状で意味がありますか（生徒の進路希望につながっているか）。

○一方で生徒指導の結果が出ていることは良いことである。

●漢検は希望者のみとしている。今後は、英検のみにしていくことも考えている。その分英検については全員受験で今後も進めていきたい。

●（デジタル化のマイナス面について）今後見直していくところもあると認識している。

○時間外労働について、授業や行事にどれくらい時間がとられていますか。

●とにかく会議や研修が多い、気が付くと17時を回っていることも。部活動や保護者対応はそれほど多くはない。

●研修は必要。特にベテランの方に対して新しいシステムなどが入ると、研修をして新たなシステムを使えるようにしていかなければならない。また、下の世代に対していろんな技術の伝達に関しても研修は大切。

●校内の委員会も多すぎる。しかし、必要な委員会を残して居るため無くすことができない。今後グーグルのアプリを利用することで、集まらないと会議ができないという考えを変えていきたい。

次回の会議日程

日 時	令和5年10月13日（金） 16:00からの予定
会 場	大阪府立港高等学校 会議室